

ジョブディスクリプション(職務記述書)作成セミナー

<セミナーのねらい>

時代が動き、環境変化とともに私たちの働き方にも変化が求められています。コロナ禍への対応・IT環境の充実やDXの推進などの観点に加え、働き方の領域ではワークライフ・バランスへの配慮、労働時間法制強化、同一労働同一賃金の義務化など様々な変化がある中で、企業は生産性の維持向上と適正な評価・処遇の実現に向けて動き出しています。

一方、私たちが使っているマネジメントシステムや人事制度は「同じ場所、同じ時間」に働くことを前提にしているように思えますが、それを変えていかなければなりません。

本セミナーでは、雇用システム研究センターの長い経験と多

くのノウハウから、「基準課業方式によるジョブ型人事制度」の具体的提案をさせていただき、これからの企業成長と社員の主体性を尊重し生産性向上を実現する方策を検討して参ります。

※「基準課業方式」：職位ごとにその難易度にふさわしい業務(＝課業)を設定し一覧表化したもので、これを基に等級制度・人事評価基準・賃金を構築します。これにより社員のプロセス管理が難しい環境でも的確に業務分担指示が可能になり、評価の透明性・納得性も向上させることが可能となります。

プログラム

14:00 開始

【基準課業に基づく資格等級・人事評価基準の策定】

1. 環境変化の要因を整理する
(何を変えなければならないか?)
2. 人事制度の本質とジョブ型人事制度
3. 人事制度の中核をなす社員資格等級制度

日 時 2022年11月15日(火) 14:00～17:00

対 象 経営幹部、人事・労務部門の管理者・担当者、労働組合役員

講 師 村上 和成氏 (公財)日本生産性本部
雇用システム研究センター 研究主幹

会 場 ネストホテル札幌駅前 札幌市中央区北2条西2丁目(仲通り)
TEL011-222-6611 (案内図は36ページを参照願います。)

参加費 (消費税込) ■会員：13,200円
■一般：16,500円

定 員 10名(予定)

4. 「基準課業方式」の構造と実際の活用
～ジョブ型雇用人事制度への具体的提案・ノウハウ、
ジョブディスクリプションへの展開
 5. 職務給でも能力給でもどちらにも対応する「基準課業方式」
 6. 策定のための手順「2段階の職務調査
(パイロット職務調査と集合研修職務調査)」
- 17:00 終了